

総務厚生委員会

今年度の調査研究活動

総合計画に関する特別委員会の分科会としての取り組みの中、昨年度は抽出した3つの政策課題について6項目の政策提言を取りまとめることができました。

今年度は、市長から示される総合計画案への提言の反映状況をチェックするとともに、提言した政策課題の追加調査やそれ以外の課

題について調査・研究を重ね、総合計画に盛り込むべく、分野別市民意見交換会や先進地への行政視察などを積極的に進行中で議論を深めようと考えています。

委員会の視点



総務厚生委員会では、

高山市が抱える課題点をどのように分析し、提言がどのように計画に反映されているかを問う中で、充実した第八次総合計画となるようにしたいと考えています。

5月に示された、高山市公共施設白書、第八次総合計画における計画人口、計画策定に

むけた財政シミュレーションなどからは、人口減少に伴う市税の減少、合併特例期間の終了による地方交付税の減少、公共施設の老朽化に伴う維持費の増加など、今後、厳しい行財政運営が推測されることも踏まえ、総合計画の10年という計画期間の、その先を見据えた創造的な議論ができるよう精力的に活動する予定です。

6~9月の活動

また、今後策定される個別計画についても総合計画との関連性、実効性などについて注視していきたいと思いません。

総合計画策定のスケジュールをにらみ6月~9月は、政策提言の中でも触れた先進事例について現地調査を行い、高山市への具現性について議論してみたいと考えています。

●**テーマ①**
民間の力を活かした

看護師の人材不足について

岐阜県看護連盟飛騨支部のみなさんと意見交換

①負担の大きい勤務体制

- ・変則2交代制（日勤8時間、夜勤16時間）のなかで、結婚・出産などで夜勤につけない看護師をカバーするため、中堅クラスが1か月に5~6回の夜勤をこなすことで全体を保持している。
- ・昼間と違い夜間は50人の患者を2~3人で見る体制
- ・看護師の平均寿命は60歳とのデータも

②安心して働くための保育環境

- ・学童保育は小学3年生まで、院内保育は3歳児まで。
- ・夏休みなど長期休暇の受け入れが不十分。

③人材不足

- ・療養病棟や老人保健施設においても看護師不足で入所者の受け入れができない
- ・実習など看護学生の受け入れやマッチングの仕組みが機能していない
- ・地域包括ケアシステムの構築や保育環境の拡充、ナースバンクの設置など、医療・看護の人材不足を解消する仕組みが不可欠である



…以上のような、**看護現場からのご意見**を伺いました。(抜粋)

行政能力の集約化・効率化「公募型市場化テスト」
 ↳提案型公共サービス
 ↳民間化制度
 ↳すべての公共サービスを行政が担うことが難しくなった今、新たな公共の担い手としてのNPO法人や企業など民間の主体と行政が対等の立場で協働する仕組みについて調査・研究を行います。

●**テーマ②**
 ↳0歳から18歳まで切れ目のない支援
 ↳福祉・保健・医療・教育が一体となって、ライフステージにあわせた継続的な支援とすするため、相談・支援の窓口を分かりやすく一本化していく取り組みについて調査・研究を行います。



行います。